

【ダウンロード用セット】市町村内起案・稟議書サンプル & 当日プログラム概要（120分標準モデル仕様書）

1. 市町村内起案・稟議書サンプル

令和8年〇月〇日

〔市町村長〕 殿
（起案者：環境行政担当課 〔担当者名〕）

件名：家庭向け温暖化防止・生活防衛型啓発イベントの開催（ひな型活用）について（起案）

1. 目的・趣旨

本市の家庭部門における脱炭素化を推進するため、福岡県地球温暖化防止活動推進センターおよび北筑後地区推進員リーダーが共同構築した「生活防衛型イベントひな型」を活用し、住民参加型の省エネ啓発イベントを開催いたしたく、ご決裁を仰ぎます。

2. 事業の背景と必要性

- 従来型啓発の限界脱却：従来の「節電の呼びかけ（我慢の省エネ）」から脱却し、今後のエネルギー料金高騰（2028年化石燃料賦課金導入等）から住民の暮らしを守る「生活防衛」を前面に打ち出します。
- 高効果セクターへの集中：自家用車を除く家庭CO2排出の半分以上（約50%超：暖房28.2%＋給湯24.5%＝52.7%）を占める「暖房（窓断熱）」と「給湯」にターゲットを絞り、国の補助金制度を活用した具体的な設備更新を促します。
- 適応策と緩和策の一体推進：窓断熱による熱中症防止（気候変動適応策）と、それに伴う大幅なCO2削減（緩和策）を同時に実現します。

3. 公平・中立性（ガバナンス）の確保

特定の民間に加担する「不公平な推奨リスク」を排除するため、行政・県センター・中立な事業者団体・地元登録事業者の「4者連携モデル」を採用します。補助金や技術の解説は県センターおよび中立団体が行い、公的機関としての公平・中立性を完全に維持します。

4. 事務負担および予算への配慮

- 準備負担の軽減：イベントの運営マニュアル、ワークショップ教材、関係団体との連絡調整フローは「標準ひな型」としてパッケージ化されているため、本課の準備負担は最小限で実施可能です。
- 実施サポート：プログラムの細部調整や公的データの提供につきましては、福岡県地球温暖化防止活動推進センターより全面的な伴走支援（無料）を受けることができます。

5. 実施概要（案）

- 日時：令和8年〇月〇日（〇） 13:30～15:30
- 場所：〔市福社会館・市民センター等〕
- 対象：市内在住の住民（定員30～50名）
- 共催・協力：福岡県地球温暖化防止活動推進センター、地元選出地球温暖化防止活動推進員

2. 【添付資料】当日プログラム概要（120分標準モデル仕様書）

イベント名称：各市町村展開のための「家庭向け温暖化防止イベント」（標準ひな型）

想定時間：120分（2時間）

対象：地域住民（定員30～50名想定）

■ タイムラインおよびプログラム構成

時間	項目	内容・運営イメージ	担当・登壇者
00-15分	1. オープニング & 問題提起	・「我慢の節電」から「暮らしを守る生活防衛」への転換・2028年化石燃料賦課金等によるエネルギー料金高騰への備え	主催市町村 & 推進員リーダー
15-40分	2. ターゲットの絞り込み & 国の補助金解説	・自家用車を除く家庭CO2の過半（52.7%）を占める「暖房」と「給湯」の重要性・住宅省エネキャンペーン等の国の最大半額補助金の客観的解説	福岡県地球温暖化防止活動推進センター
40-70分	3. 設備改修の技術・仕様デモンストレーション	・窓の断熱強化（二重窓・内窓）による「暑さ73%カット・熱中症防止」・給湯設備の公平・対等な提示（【電化】エコキュート / 【高効率ガス】エコジョーズ・ハイブリッド給湯器・節水）	中立な非営利事業者団体等
70-105分	4. 参加型ワークショップ（わが家のチェック）	・付箋と巨大台紙を用いた、自宅の「窓・給湯」現状チェック・推進員がファシリテーターとなり、住民の本音や課題を抽出	地域推進員（グループワーク）
105-120分	5. まとめ & 個別相談案内	・生活防衛とCO2削減の両立に向けた次のアクション提示・地元の複数登録施工業者による個別相談窓口の案内・アンケート記入	推進員 & 地元登録施工事業者

■ 本プログラムの特長

1. 我慢を強くない：小手先の節電ではなく、住まいの構造改修による「自動的・永続的な光熱費&CO2削減」を提示します。
2. 完全な中立性：エネルギー源（電気・ガス）や特定のメーカーに偏らず、エコキュートとエコジョーズを対等・公平に提示します。
3. 負担ゼロの運営：進行台本やワークショップ台紙、関係団体との連携フローがすべてパッケージ化されているため、主催自治体や推進員の準備負担がかかりません。